

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

18日の朝、大阪で地震が起きました。被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。また、犠牲となられました方々に謹んでお悔やみ申し上げます。阪神大震災を思い出すほどの揺れでした。ご心配をおかけしましたが、幸いにも大阪社は何も問題なく、社員も無事でおりますのでご安心ください。

わが家には、2002年ごろに購入したガジュマルの鉢植えがあります。最初は10cmほどのハイドロカルチャーの鉢に植えられた小さな苗でした。大事に育てた・・・とは言い難いのですが、数年後に土に植え替えし、成長するごとに一回り大きな鉢に何度か植え替えただけで、さほど肥料もやっていないのに大きく育ちました。2015年に引っ越しする際、久しぶりに植木鉢を動かしてみると、鉢穴から太い根っこがズルズルと伸びていました。植物の太い根は切らない方がいい・・・と、聞き覚えがあったので、大きな鉢に植え替えるのがベストだろうと思いつつ、「ま、いいか」と、プチッと切ってしまいました。

それがきっかけなのか、引っ越し先のベランダが北向きだからか、それ以来ガジュマルの元気がなくなったのは確かです。

「思い切って短く剪定した方がよい」という記事をネットでみつけ、伸びすぎていた枝を短く切ったのは去年の夏のことでした。しかし、元気になる様子はなく冬をむかえました。

今年の冬の極端な寒さは、さらに追い打ちをかけました。めだかの水鉢にはプチプチで防寒をしたのに、「これまでも大丈夫だったから」と、植物たちはそのままベランダに放置してしまったのです。せめて、樹の勢いが衰えているガジュマルだけでも、気を付けてあげるべきでした。

結果、冬でも緑色でピカピカしているはずの葉は一つ残らず枯れてしまい、側に置いてあるクワズイモの葉っぱも無くなってしまいました。

・・・しまった。やらかした・・・。勘を無視して軽率に行動し失敗するのはいつもパターンで、自覚しているのに時々やってしまいます。

同じ失敗を二度も繰り返されたガジュマルはたまったものではないですね。

春になってクワズイモは新芽をだしましたが、茶色いままのガジュマル。半分あきらめつつダメもとで、いつもよりマメに水やりをし、枝や幹にも念入りに水をかけ、撫でたり話しかけたりしていましたが、ゴールドenウィークがすぎても、何の変化もありませんでした。

それが、6月に入ってから樹の幹から小さな小さな緑の葉っぱが出てきたのです！まだ、生きてました！！よく見ると細い枝の先端も、うっすら緑色を帯びています。生きていてくれてありがとう！！

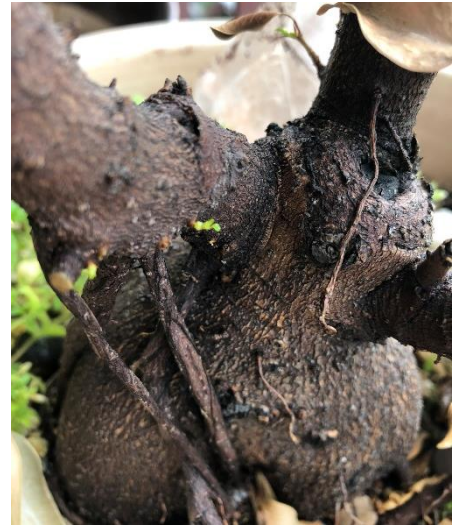
「植物とはいえ、生きものを家に迎えるということは、その命を大事にする責任がある。」枯らすたびに反省しますが、また枯らしてしまうところでした。

お世話できないのだから、もう新たな観葉植物を買ってくるのは止めよう。今家にいる植物たちを大事にしよう・・・そう心に刻んだはずなのに、またうっかり新しい植物を買って来てしまったことを、告白いたします・・・。

まだこれから余震がくるのではないかと心配していますが、こればかりは予測できません。これを機会にあらためて備蓄の水や食料を補充しています。懐中電灯も行方不明だったので買ってきました。

19時になっても薄っすら明るいのがうれしいです。昼が長い季節を楽しんで、健やかな毎日をお過ごしくださいませ。

小さな芽がではじめました。ゴメンね



新しい仲間「フィランサス・ミラビリス」  
夜になると葉を閉じます。



水晶などの鉱物なら  
水やり・餌やり一切不要。  
温度変化にも耐えられ、お気軽です。

